

第83回 未来医療セミナー

2014.11/14
18:00-19:00

大阪大学吹田キャンパス
最先端医療イノベーションセンター
1F マルチメディアホール

医療分野の新たな研究開発体制と 日本医療研究開発機構に関する現状と展望

板倉 康洋

内閣府 日本医療研究開発機構担当室
参事官



2013年6月、日本経済の再生に向けた「日本再興戦略」が閣議され、医療研究分野に関しては、①司令塔として、内閣に総理大臣・担当大臣・関係閣僚からなる推進本部を設置する、②基礎から実用化までの研究管理の実務を行う独立行政法人を創設すること等が明記された。2014年5月には、関連法案が国会審議を経て成立し、2015年4月に、日本医療研究開発機構が設置されることとなった。新機構は、医療分野の研究開発及びその環境整備の実施・助成について中核的な役割を担う機関として、各省の枠を超えて、PD、POを活用した基礎から実用化までの一貫した研究管理を行う他、知的財産取得戦略の立案支援や臨床研究支援体制の充実を図るとともに、国際戦略の推進や適正な研究実施のための体制整備についても取り組むこととしている。このような我が国の新しい医療研究体制について現状と今後の展望を述べたい。

主催：未来医療交流会

共催：大阪大学大学院医学系研究科

文部科学省橋渡し研究加速ネットワークプログラム
大阪大学「TR実践のための戦略的高機能拠点整備」

後援：大阪大学医学部附属病院未来医療センター
大阪大学臨床工学融合研究教育センター
厚生労働省早期・探索的臨床試験拠点整備事業

お問い合わせ先：

大阪大学医学部附属病院未来医療センター
ctr.osakauniv@dm.med.osaka-u.ac.jp

<http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp>